

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

別添資料11

公表: 令和6年2月29日

事業所名 narelu 福島駅前 保護者等数(児童数)27(27) 回収数 19 割合 77 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2		1		学習スペースとフリースペース区切っている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	6		5		指導員、児童指導員、有資格者、ドライバーの人員配置がある。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1		7		バリアフリー基準を満たした設備になっている。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	1				今後も、お子様と保護者様のニーズをお伺いし、個別支援計画書に反映させていく。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	3		1		活動内容が的確に伝わるように連絡帳やフィードバック時に保護者様に伝えていく。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	6	9		今後交流ができるよう検討していく。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			1		今後も適切に支援内容等を保護者様と情報共有していく。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	3				今後も、子どもたちの発達段階に応じた支援を行っていき、保護者様に伝えていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4		1		必要に応じて、支援を行っている。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	7	4		今後、保護者間の交流の場等を検討していく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	4	1	4		相談、苦情等があった場合は迅速に適切に対応するように努めている。苦情受付解決担当者を重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2		2		お子様の状況を連絡帳や送迎時のフィードバックまた、必要に応じては、電話で対応している。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	4		4		弊社のホームページにて自己評価の結果や、ブログにおいて、子どもの様子、イベント等の活動を発信している
14	個人情報に十分注意しているか	15	1		3		個人情報が記載されている書類等は、鍵付きのキャビネットに保管している。	
非常時 等	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10		2	7		今後、保護者様にマニュアルの周知を行う。

の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	14	今後、火事、洪水、地震等細分化して行っていく。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	2		今後も、子どもたちにとって、楽しくて、安心できる場であるよう、支援内容、プログラム内容を工夫していく。
	18	事業所の支援に満足しているか	15	4		今後、学習支援は勿論の事、運動療育にも力をいれ、更なる満足度の向上に努めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。